

# 斎藤食品工業を家宅搜索



電子速報版

2009年4月21日(火)発行

発行所

山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12

電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2009  
Yamagata Shimbun

やまがたニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

モバイルやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



購読申し込み(9~17時)

0120-81-8040

詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

県警など

## 不正競争防止法違反の疑い

山菜加工販売業の斎藤食品工業(新庄市、斎藤淳社長)が産地を偽装していたとされる問題で、県警生活環境課と新庄署は二十一日早朝、不正競争防止法違反の疑いで、同社の本社など関係先十数カ所の家宅搜索に入った。

県警によると、斎藤食品工業は今年春、山形市内の食品取扱業者に対してワラビの水煮加工品を卸した際、ロシア産ワラビを国産、県産などと偽って表示した疑いが持たれている。

県は二十日、斎藤食品工業のワラビ、フキ、タケノコ、ゼンマイ、ナメコ、山菜ミックスの計六種類二百六十八製品で不適切な原産地表示があり、昨年四月からの一年間で約三百三十六トンを販売したとする調査結果を公表。斎藤社長は十八日、代理人の弁護士を通じて、県の調査結果と同様の不正があったことに加え、偽装は社長本人の指示だったとのコメントを出している。少なくとも二〇〇四年ごろから偽装表示をしていたという。



斎藤食品工業本社の家宅搜索に入る捜査員

21日午前7時20分、新庄市鳥越

斎藤食品工業 1978(昭和53)年5月に法人化。資本金1000万円、主に山菜やキノコの食品加工と販売が主力。工場併設の本社は昨年5月に現在の新庄市鳥越に移転。戸沢村角川にも工場がある。帝国データバンク山形支店によると、創業は61年で、2008年4月期の売上高は約13億円。